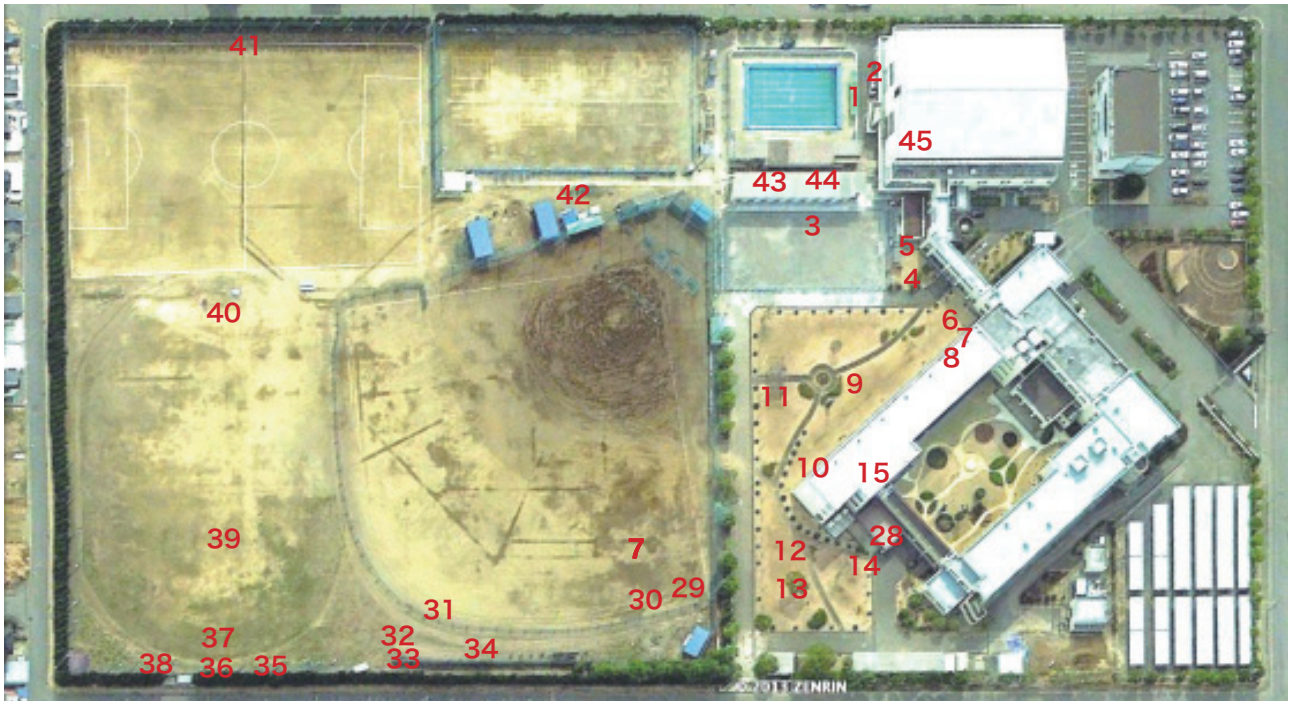
福島第一原子力発電所事故による土壌等への放射性物質沈着状況の測定

場所：茨城県立藤代紫水高等学校（茨城県取手市紫水１－660）
　　北緯 35 度 56 分 15 秒、東経 140 度 05 分 37 秒　標高：９m
日時：2013（平成 25）年２月 21 日　（木曜）10:00-12:00　　季節：冬　　天候：晴れ
測定機器：シンチレーション式サーベイメータ　日立アロカメディカル　TCS-172
測定対象放射線：γ線　　線量当量率（単位：μ Sv/h）



S
N

○「基準超」：除染特措法の運用上、除染対象となる、高さ 1m で 0.23 μ Sv/h を超える地点。
○「蓄積」：周囲に較べて、あきらかに大量の放射性物質が堆積している地点。

番	場所	1m	1cm	備考
1	体育館脇アスファルト駐車場	0.17	0.27	蓄積
2	体育館脇側溝蓋金属網	0.15	0.15	
3	ハンドボールコート土	0.11	0.09	
4	ハンドボール監督室裏芝	0.19	0.24	蓄積
5	４近くの人工芝	0.20	0.30	蓄積
6	芝生	0.21	0.28	蓄積
7	校舎雨樋放流下	0.16	0.25	蓄積
8	７雨樋下側溝蓋金属網	0.24	0.36	基準超
9	芝生・１－３、１－４前	0.19	0.19	
10	芝生・１－６前	0.18	0.21	
11	芝生	0.19	0.21	
12	芝生	0.21	0.22	
13	芝生・樹木根元	0.18	0.21	
14	芝生・購買店舗後	0.21	0.25	蓄積
15	渡り廊下側校舎内・水道前	0.11	0.11	
28	自販機前コンクリート溝	0.18	0.25	蓄積
	16-27 は次頁			

＊校舎の雨樋（竪樋）は犬走りに放流する構造になっている。

番	場所	1m	1cm	備考
29	野球場左翼フェンス際	0.25	0.30	基準超
30	野球場左翼フェンス際	0.25	0.25	基準超
31	野球場中堅フェンス際	0.16	0.16	
32	闘球場の表土の山ふもと	0.33	0.50	基準超
33	闘球場の表土の山上部	0.37	0.46	基準超
34	野球場中堅フェンス外芝	0.40	0.45	基準超
35	防球ネット下芝	0.24	0.44	基準超
36	闘球場の表土の山ふもと	0.32	0.34	基準超
37	闘球場の表土の山上部	0.34	0.40	基準超
38	新規購入した土の山	0.19	0.17	
39	グランド中央部	0.17	0.18	
40	グランド中央部	0.13	0.16	
41	フェンス下芝	0.31	0.37	基準超
42	テニスコート外	0.14	0.13	
43	部室棟前雨樋放流下	0.17	0.30	蓄積
44	プール雨樋放流下	0.17	0.30	蓄積
45	体育教官室内	0.10	0.09	

＊ 32、33 の土砂の山と 36、37 の土砂の山は、グランド整備を目的として雑草と土（39、40 周辺）を剥ぎ取り、築山にしたもの（2011 年３月の放射性物質沈着以後）。

【中庭拡大図】

番	場所	地上 1m	1cm	備考
16	芝・街灯下	0.23	0.27	基準超
17	芝	0.24	0.31	基準超
18	雨樋放流下	0.24	0.40	基準超
19	雨樋放流下	0.22	0.33	蓄積
20	側溝	0.23	0.40	基準超
21	雨樋放流下	0.23	0.40	基準超
22	雨樋放流下	0.20	0.40	蓄積
23	芝・タイル際	0.27	0.38	基準超
24	芝・タイル際	0.24	0.58	基準超
25	植込み	0.22	0.32	蓄積
26	植込み	0.20	0.40	蓄積
27	芝	0.21	0.27	蓄積

＊校舎の雨樋（竪樋）は犬走りに放流する構造になっている。

【写真】 番号は表の番号、数値は地上 1m と 1cm、単位 μ Sv/h

29	野球場左翼フェンス際	0.25	0.30	高線量

36	闘球場の表土の山ふもと	0.32	0.34	高線量

37	闘球場の表土の山上	0.34	0.40	高線量

18	雨樋放流下	0.24	0.40	高線量

24	芝・タイル際	0.24	0.58	高線量